内閣府 総合防災情報システム
SOBO-WEB ハッカソン2026

令和８年１０月１７日

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」において、
「新総合防災情報システム（SOBO-WEB）ハッカソン2026」
を開催しました。



2024年4月に運用を開始した「新総合防災情報システム（SOBO-WEB）」は、各機関から収集・集約した情報を地理空間情報として共有するシステムです。また、災害対応機関が共有すべき特に重要な情報を「災害対応基本共有情報（EEI）」として整理し、災害対応の高度化を図っております。

「新総合防災情報システム（SOBO-WEB）ハッカソン2026」では、**「EEIを活用した、行政・企業・住民を支える防災ソリューションの共創」**をテーマにアイデアやソリューションを募集したところ、**計42件**の御応募をいただきました。その中から二次選考を通過した6チームの皆様にご発表いただき、**防災担当大臣賞の受賞者を決定しました**。



【開会挨拶】内閣府特命担当大臣（防災）
細野 豪志

SOBO-WEBは熊本地震等でも、災害情報の共有や被災情報の活用などについて有効性を発揮しております。

今後このシステムをよりレベルを上げ、これから来るであろう災害に備える体制としても充実をさせていきたいと思っております。

今回のハッカソンがきっかけでSOBO-WEBがより高度なものになったと言えるところまでしっかりと見届けたいと思います。

新総合防災情報システム（SOBO-WEB）ハッカソン2026 ＜発表6チーム＞

各チームから5分間の熱意溢れるプレゼンテーションが行われました。会場内では、ソリューションの提案に対する来場者の高い関心がうかがえました。

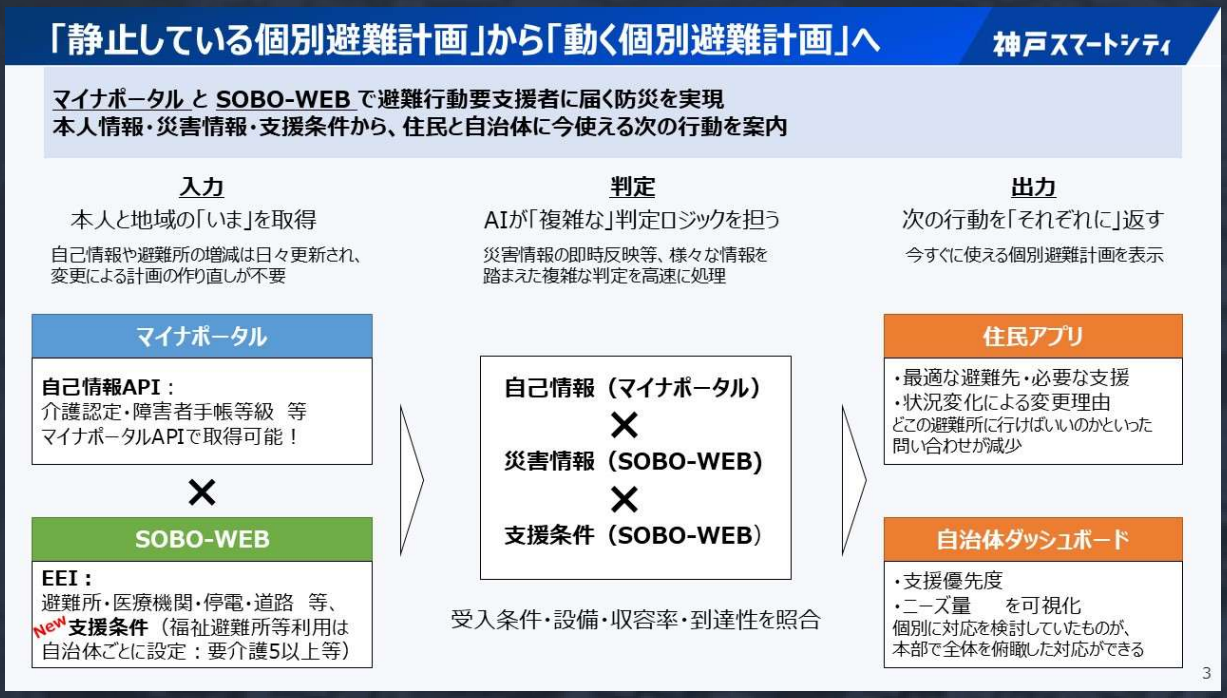
PwC Japan有限責任監査法人 EEIと病院職員の居住メッシュを用いた災害医療支援判断のための職員参集推計	神戸市役所 マイナポータルとSOBO-WEBで要支援者に届く防災を実現	SoftBank ソフトバンク株式会社 在宅避難ライフライン見通しアプリ
株式会社Spectee、大阪大学 一般社団法人地域情報共創センター 『AI』×『共助』が水害避難を革新するリアルタイム超高精度浸水推定プラットフォーム	MS&AD INSURANCE GROUP MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社 保険だけじゃない。EEI×損保データで進化する災害対応	小樽市役所 SOBO-WEB_EEI連動型「全庁一体！防災アシスト・ダッシュボード」



神戸市役所

マイナポータルとSOBO-WEBで要支援者に届く防災を実現





【発表内容】

長い時間をかけて作成した避難行動計画ですが、実際想定どおり活用できるかどうかわからないのは、基礎自治体職員が抱えているとても大きな問題です。これらを踏まえ、動く個別避難行動計画への転換として、SOBO-WEBとマイナポータルの連携による解決策を提案します。



【選考委員コメント】

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 客員研究員 **今石 佳太**

支援のニーズを災害時に利用できる避難先と結びつけるということで、実効性を高めるような計画であり、福祉と防災をつなぐということで、一人一人に向き合う支援というのが期待できる素晴らしい発表だと思います。

【選考委員コメント】

静岡大学　防災総合センター　客員教授　**岩田孝仁**

非常に感銘しました。もうちょっと頑張ってもらいたいのは、実際に避難をしたとか、行動した後の状況も実態に合わせて情報共有・提供していくというシステムに発展させていただけるとありがたいと思います。



MS&AD INSURANCE GROUP

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

保険だけじゃない。EEI×損保データで進化する災害対応





【発表内容】

損害保険グループならでは独自性を持たせたアイデアです。ドライブレコーダー網による全国約44万台の目で災害発生直後の初動対応の遅れに対する解決策と、災害廃棄物処理実行計画においても、EEIと損保データを活用して、実行計画をAIで自動策定する仕組みを提案します。



【選考委員コメント】

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援担当）
桐部 仁志

ドラレコ映像は非常に有効な手段で、実際の運用に向けて議論を深められればと思いました。災害廃棄物の方も自治体の業務を効率化する上で非常に有効なソリューションと感じました。

【選考委員コメント】

徳島大学 環境防災研究センター 特任准教授 **坂東 淳**

SOBO-WEBの俯瞰的な視点と、ドラレコの地上から見る視点の2つが繋つながるのは、非常に有用な発想だと思います。廃棄物のシミュレーションも、俯瞰した形で見たものを実際のオペレーションに落とすなどして、ブラッシュアップしていただきたいです。



小樽市役所

SOBO-WEB_EEI連動型「全庁一体！防災アシスト・ダッシュボード」





【発表内容】

発生直後に殺到する問い合わせに対し、防災専門ではない一般職員であっても即答を可能にし、さらには問い合わせの内容からや観光客とが今何を求めているかを分析し、災害対策本部の意思決定を支援して、市民や観光客との命を守る画期的なダッシュボードです。



【選考委員コメント】

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 客員研究員 **今石 佳太**

発災初期段階で多様で大量の情報が入ってくる。問い合わせが特定の部署に集中することなく、担当に振り分け、さらに次の支援に結びつくところまで計画されておられるというのは、非常に評価に値するのではないかと思いました。

【選考委員コメント】

徳島大学 環境防災研究センター 特任准教授 **坂東 淳**

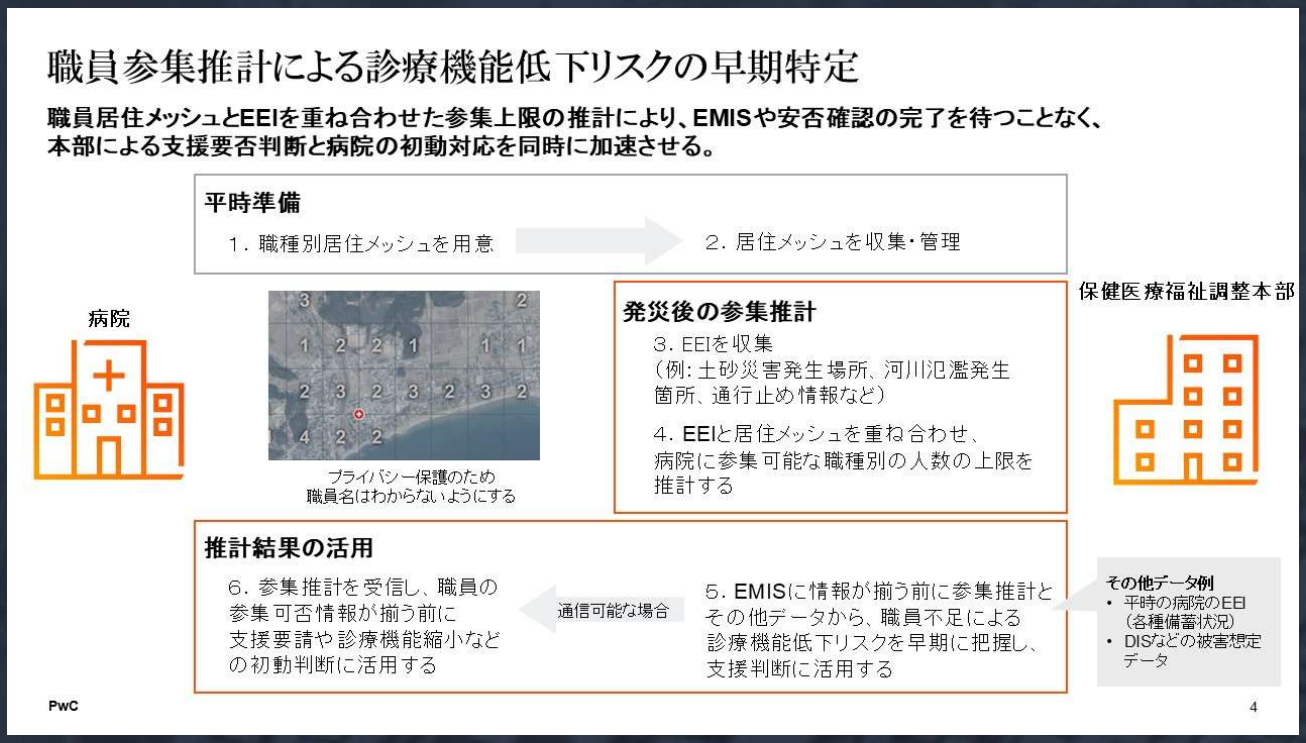
住民からの問い合わせを全庁的に分散させるというこの発想、すごくいいと思ってます。住民からの問い合わせに対して、今後進展するEEIの情報とのすり合わせや、関係者限りの情報などの運用について議論をすればもっといいものになるかと思います。



PwC Japan有限責任監査法人

EEIと病院職員の居住メッシュを用いた災害医療支援判断のための職員参集推計





【発表内容】

被災した病院の中から、医師や看護師といった人的な支援人的な応援が今すぐ必要だという病院の素早い特定を支援する仕組みです。情報が揃う前から職員参集を推計し、職員不足による診療機能低下リスクを早期に特定するソリューションを提案します。



【選考委員コメント】

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援担当）
桐部 仁志

医療従事者以外にも他の災害救助要請や救助に必要な人員にも発展可能かなと思いますし、また企業のBCPの有効性確保や高度化にも使える、発展性のある提案でもあるかなと思いました。

【選考委員コメント】

大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター センター長・教授/クライシスマネイジメント機構　副機構長 **鶴成 悦久**

参集条件、参集がどれぐらい集まるかというところは、着眼がユニークで、いわゆる病院そのもののポテンシャルを図るということであり、非常にいい、有効な考え方だと思います。



株式会社Spectee、大阪大学
一般社団法人地域情報共創センター
『AI』x『共助』が水害避難を革新する
リアルタイム超高精度浸水推定
プラットフォーム





【発表内容】

SNSの投稿、災救マップ、自治体職員による投稿、認定投稿者による投稿、SOBO-WEBのEEIデータをAIで統合解析し、浸水の深さや浸水拡大予測等を解析し、結果を住民向け災救マップなどの形で、住民向けに提案・提供します。



【選考委員コメント】

大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター センター長・教授/クライシスマネイジメント機構　副機構長 **鶴成 悦久**

導入されると非常に有効的に働くと思います。ただ浸水エリア素早いの特定は、SNS情報ではないところに偏ると思いますので、精度向上について取り組んでいただければなと思いました。

【選考委員コメント】

徳島大学 環境防災研究センター 特任准教授 **坂東 淳**

発生している状況に対して、その先取りをどこまでできるのかが入ってくると良いかなと思います。自治体は正確性を求めるため、タイムラグを含めて情報の精度を高める工夫があるとすごくいいものになると思います。



SoftBank ソフトバンク株式会社

在宅避難ライフライン見通しアプリ





【発表内容】

SOBO-WEB、AI、住民向けアプリをつなぎ、SOBO-WEBのライフラインの情報や公式避難情報と連携させます。さらに住民の手入力による自宅の住所や生活状況をもとに、自宅がどれだけ危ないのかという自宅リスク指数に加えて、推奨行動をAIが判定・出力します。



【選考委員コメント】
内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(防災デジタル・物資支援担当)
桐部 仁志

状況が許す場合は在宅避難が現実的な選択肢。電気や水、通信等の情報、さまざまな情報を掛け合わせることで説得力を持って理論的に判断できるようになる大変興味深い提案でした。

【選考委員コメント】
静岡大学　防災総合センター　客員教授　**岩田孝仁**

一人一人に直接判断をするための指標を提供する、非常に画期的な取り組みだと思います。それを進化させるために、世帯特性といった、複雑な要素をどういうふうに指数化していくか、AI能力を高めて実用化に向けて頑張ってほしいです。





【発表を受けて】
内閣府特命担当大臣（防災） 細野 豪志

6者とも非常に興味深い提案で私もなるほどと思いながら聞いていました。市役所の側から見た視点と、民間の企業や研究機関が技術を非常にうまく活かして提案をいただいたと感じました。

非常に面白い提案をたくさんいただいたので、行政の側から「こういう使い方もあるんじゃないか？」と、横展開が結構ありそうな気がしました。

私も初めてこういうの見せていただきましたが、ぜひ単にコンテストで終わらせるはなく、実際の導入まで持っていければ非常に素晴らしいのではないかというふうに思います。















選考委員会による審査を経て、**防災担当大臣賞**の受賞者を決定しました！



最優秀賞

MS&AD INSURANCE GROUP
MS&ADインシュアランスグループ
ホールディングス株式会社

**保険だけじゃない。
EEI×損保データで進化する
災害対応**

【受賞者コメント】
さらにブラッシュアップしまして、我々のソリューションを社会実装して、現場・社会に役立てるよう引き続き尽力してまいります。

優秀賞

OTARU
小樽市役所

**SOBO-WEB_EEI連動型
「全庁一体！防災アシスト
・ダッシュボード」**

【受賞者コメント】
この受賞に負けないよう、市民はもとより観光客が安全安心で観光を楽しめるよう努力してまいります。





優秀賞

SoftBank
ソフトバンク株式会社

**在宅避難ライフライン
見通しアプリ**

【受賞者コメント】
業務の中で地震被害の大きさを知り、このようなアプリを提案した背景があります。引き続きよろしくお願いいたします。

優秀賞

神戸市役所

**マイナポータルとSOBO-WEBで
要支援者に届く防災を実現**

【受賞者コメント】
可視化して終わりではなく、しっかり流通させることで、神戸市としても一助になればと思ってます。





【選考委員講評】
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援担当）
桐部 仁志

6団体の発表はどれも本当に興味深い内容でした。我々国の組織では、なかなか気づきにくいような視点から、EEIの活用の可能性を示していただき、大変有意義なイベントになったと思っております。また来年も防災庁として同様の取組を実施したいと思っておりますので、積極的なご提案を期待しております。

【選考委員講評】
大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター センター長
/クライシスマネジメント機構　副機構長　教授　**鶴成 悦久**

EEIと皆様が保有する情報を掛け合わせることで、一人一人の命をつなげることや、行政における応急救助などに発展できると思います。今後、AIの発展も一緒になって広がる中で、個人情報などといった色々な問題について配慮しながらぜひこの発展にご協力をお願いいたします。





【選考委員講評】
静岡大学　防災総合センター　客員教授　**岩田 孝仁**

提案内容が着実に進化していると感じました。行政サービスの向上や、一人一人が適切に判断できるような情報提供につながる提案が多く、SOBO-WEBの活用の広がりを実感しました。また、皆様の提案を組み合わせることでさらに進化した仕組みができるのではないかと思います。

【選考委員講評】
徳島大学 環境防災研究センター 特任准教授 **坂東 淳**

EEIと皆様が持つ情報を掛け合わせることで、発災直後の情報不足を補い、判断支援が可能になる提案だったと思います。今後は、誰がどの場面で使うのか、また実際の業務の中でどのように活用するのかをさらに具体化することで、提案の実現性が増していくと思います。





【選考委員講評】
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 客員研究員 **今石 佳太**

30年間現場で活動してきましたが、今回の提案は「もっと早く実現してほしかった」と思いました。皆様の発表された分野の中で課題はまだまだ残っていると思いますが、改善を図りながら、1日でも早く社会実装され、この国の安心・安全につながることを期待しています。

【閉会挨拶】内閣府特命担当大臣（防災）
細野 豪志

SOBO-WEBは間違いなくこれから必要になるシステムで、DX化により大きく災害対応が飛躍をすると思いますので、そのさらなる可能性を今日見せていただけたのではないかなと感じています。
今年はその点でも大きく飛躍したハッカソンだったと思っております。ご協力をいただいた全ての皆さんに心より感謝を申し上げます。



開催概要



名称	「新総合防災情報システム（SOBO-WEB）ハッカソン2026」
日時	2026年10月17日（土）12：30～14：00
場所	エースパック未来中心　2階　セミナールーム3A
主催	内閣府（防災デジタル・物資支援担当）
最優秀賞	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
優秀賞	小樽市役所
優秀賞	ソフトバンク株式会社
優秀賞	神戸市役所
参加記念	株式会社Spectee、大阪大学、一般社団法人地域情報　共創センター合同チーム
参加記念	PwC Japan有限責任監査法人
選考委員	桐部　仁志　内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災デジタル・物資支援担当） 鶴成　悦久　大分大学　減災・復興デザイン教育研究センター　センター長 /クライシスマネジメント機構　副機構長　教授 岩田　孝仁　静岡大学　防災総合センター　客員教授 坂東　淳　徳島大学　環境防災研究センター　特任准教授 今石　佳太　兵庫県立大学大学院　減災復興政策研究科　客員研究員